

第21号

# 川越初雁会

## 岩堀前会長から

### 金子新会長に襷をつなぐ



役員会で挨拶をする岩堀会長

### 役員幹事会開催される

令和四年七月九日、川越高校図書館二階セミナー室において、役員幹事会が開催されました。

二十名の役員の方々が出席され、令和三年度の事業報告及び決算報告の後、令和四年度の事業計画案及び予算案を中心に協議していただきました。

昨年度は総会及び講演会がコロナの影響で、前年に引き続き中止となりましたが、散策会及びゴルフコン



金子 憲二会長予定者

正式には九月の総会にて承認されることとなりますが、役員幹事会にて承認された人事案（新任のみ）を以下に記します。

べは秋、春とも実施することができました。まだまだ油断ができないとはいえ、少しずつコロナとの共生が始まった一年でした。

また今年度は二年に一度の役員改選にあたります。新しい役員人事案が示され、了承を得ることができました。

### 新会長誕生へ

八年にわたって会長の任を担っていただいた岩堀弘明さんが退任され、第三代会長に金子憲二さんが就任されます。

金子さんは十三回卒業で、在学中は体操部のキャプテンとして活躍なさっていました。

岩堀さんは川越初雁会の設立時から副会長、会長として会を引率して頂きました。改めてここに感謝いたします。

### 総会は予定通り開催

さて、八月に入りまして、コロナ感染第七波が猛威を奮っています。過去最大級の感染状況となっておりますが、今年の総会は令和四年九月十七日（土）川越高校図書館二階セミナー室で開催しますが、懇親会はなしで行います。（総会案内を別紙にて同封）

三年ぶりの開催となりますが、会員の皆様の参加を

お待ちしております。

### 新たな人事案（新任のみ）

- 顧問 岩堀弘明 八回
- 会長 金子憲二 十三回
- 副会長 増村広一 二十回
- 同 一瀬 要 二十三回
- 監事 田中隆行 二十九回
- 幹事 大野英明 十二回
- 同 富山一哉 三十五回
- 同 佐藤 剛 四十二回
- 同 海老田勲 五十三回

### 令和四年度事業計画案

総会および講演会

令和四年九月十七日（土）

川越高校セミナー室

講師 田中敦氏（高三十四）

山梨大学教授

演題

社内ベンチャーとワーケーション つながりが生み出す新たな価値と機会

散策会

令和四年十一月二十日（日）

秋東京浅草周辺（予定）

講演会

令和五年三月十八日（土）

川越高校セミナー室

講師 未定

春季散策会

九段下 昭和館を探訪する

原 宗康 (高四十一回)



昭和館入口にて参加者の集合写真

に、外国人観光客への一部受け入れ開始となり、いよいよコロナ禍にも明るい兆しが見えてきました。そうした六月十一日、春季散策会としては、二〇一九年以来三年ぶりに開催することができました。今回は二月発行の会報でもご案内の通り、千代田区九段坂下にある「昭和館」を訪れ

についての歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供する施設で、平成十一年三月に開館しました。この設立に、当会会員の佐々木典夫さん(高十二回)が厚生省在職中に携わっておられ、今回の散策会にあたり佐々木さんにご紹介いただき、当日は、先方より特別な計らいを頂いたことをここでご報告するとともに、深く謝意をお伝えしたいと思います。

当日参加者は十九名、十時に昭和館に到着、事務局長のお出迎えを頂き、一同ご挨拶させて頂いたのち、早速七階の常設展示室へ移動し、職員の方にご案内を頂きながら見学をしました。階下の六階にかけて戦前戦後の暮らしについて、実に多くの展示資料が当時の様子を詳細に伝えており、当時を知らない我々世

代でもとても興味深く見学することができました。また当時を体験している先輩方においては、思い出深く皆さんにその体験をお話しされていたのが印象的でした。その後、一階のシアターに移り戦前戦後に映画館で上映されていたニュース映像を見学、戦前戦後の人々の暮らし、時代の空気感を伝える貴重な映像資料に時間を忘れて見入ってしまいました。この他にも図書フロアがあり、写真集をはじめとして多くの図書、雑誌が自由に検索閲覧することが可能で、今回は時間が取れませんでしたでしたが、改めて見学したいと思いました。こうした展示物を通して、『戦争』がどのように人々の暮らしの中に暗い影を落としているか』を改めて知ることのできる、非常に貴重な資料館であることが分かりました。薄れゆく戦争の記憶を風化させてはいけなく、戦争が行われている今だからこそ、改めて強く感じられる散策会になりました。

二〇二二年が明け、新型コロナウイルス感染者数のピークを二月に迎えて以降、幸いなことに感染者数は減少の一途をたどっています。いよいよこの六月には二年ぶり

この「昭和館」は主に戦没者遺族をはじめとする国民が経験した戦中・戦後(昭和十年頃から昭和三十年頃まで)の国民生活上の労苦

見学を終えて、昼食は御徒町に場所を移し宴席を設けました。感染防止に関しては配慮しつつ、久しぶりに顔を合わせる方、初めて参加される若手の方との交流を深めることのできた一日となりました。



説明を受ける参加者